

令和6年度 一般部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
鶴居村立幌呂小学校	<p style="text-align: center;">【タンチョウへの給餌活動】</p> <p>昭和27年12月に、同校近くの畑にうずくまっているタンチョウを発見し、そのタンチョウを救うため、各家庭から穀物等を持ち寄ったことから給餌が始まった。以降、地域住民と協力する等、活動を発展させてきた。</p> <p>また同校では、本活動に付随してタンチョウ学習を充実させ、冬季には観光客に対し、児童によるタンチョウに関するガイド活動を実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ これほど長期間にわたる活動は、日本全国を探しても他に例がなく、地域のタンチョウ保全の気運を高めてきたものとして評価できる。 ○ タンチョウの保全だけではなく、タンチョウによる農業被害の発生にも焦点を当てる等、児童への社会教育という点でも評価できる。 ○ 当初、児童が始めた活動が、他地域にも波及し、国・道の取組へ発展していることは、素晴らしい功績である。



活動の様子



表彰式等



令和6年度 一般部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
宮島沼の会	<p style="text-align: center;">【自然戦隊マガレンジャー】</p> <p>小学3年生から中学3年生を主体とするジュニア・ユースグループで、月に1～2回活動している。</p> <p>その活動は、隊員の発案で開始され、生物と環境の調査、ごみ拾いなどの環境整備、展示物の作成や自然ガイド、地元の農産物を使ったメニュー開発、ヨシの利活用に向けた活動など多岐にわたる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの発案による観光客向けのガイドを実施するなど、子どもたちの自主性と地域に密着した活動として、評価できる。 ○ 将来的に生物多様性の保全等において活躍できる人材の育成につながる活動として評価できる。 ○ 道内にある13のラムサール条約湿地の中では最も小さいものの、渡り鳥の中継地として重要な宮島沼に焦点を当てる活動であり、子どもたちの自主性が高いことも含め、将来に可能性を感じる活動である。

活動の様子



表彰式等

